

道路事業

とちぎさの いわふねまちおの でら 主要地方道栃木佐野線 (岩舟町小野寺工区)

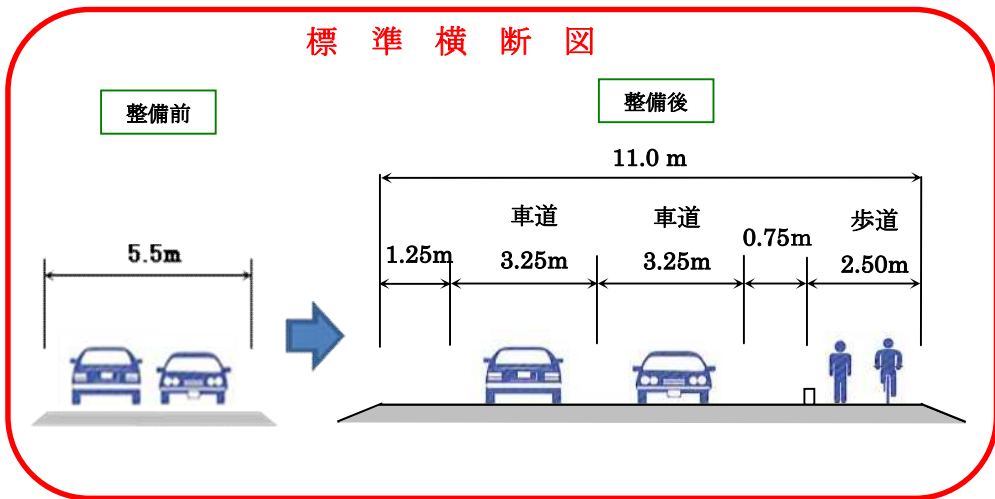
(平成 22 年 3 月 供用)

1 事業概要

主要地方道栃木佐野線は栃木県栃木市を起点とし、栃木県佐野市に至る延長 12.8km の幹線道路です。特に、沿線地域の産業、経済、生活を支える重要な役割を担っています。

小野寺工区は、岩舟町小野寺字田代から字にしね西根までの 2,860m 区間において、道路整備を行うものです。

- ◆ 事業名：緊急地方道路整備事業
- ◆ 事業箇所：下都賀郡岩舟町小野寺地内
- ◆ 事業主体：栃木県
- ◆ 全体延長：2,860m
- ◆ 幅員：11.0m (車道 6.5m 歩道 2.5m)
- ◆ 総事業費：約 21 億円
- ◆ 事業期間：平成 11 年度～平成 21 年度



2 事業の目的・必要性

本事業区間は、栃木市と佐野市の都市間を結ぶ重要な幹線道路であり、また沿線地域は県内有数の砕石産地であることから、大型車の混入率が非常に高い路線であります。

しかし、岩舟町小野寺地区の現道は幅員が狭く、大型車同士のすれ違いが困難であり、歩道も無いことから、歩行者や自転車の安全性確保も課題となっていました。

このため、栃木県では「安全で円滑な交通の確保」、「歩行者・自転車利用者の安全確保」を目的に、平成 11 年度より整備に着手し、平成 22 年 3 月に全区間を供用しました。

3 事業の整備効果等

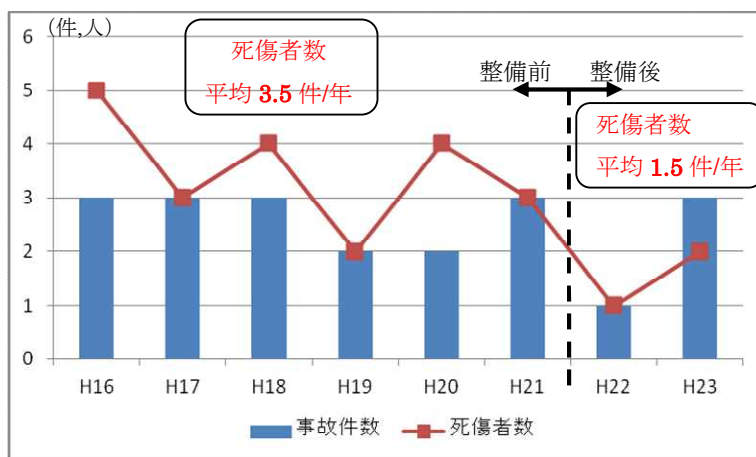
<費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化>

- ・事業費 着手時：約 21 億円 → 完成時：約 21 億円
- ・事業期間 着手時：平成 11～21 年度 → 完成時：平成 11～21 年度

<安全で円滑な交通の確保>

道路幅員が広く、線形がスムーズになったことで安全性が向上し、交通事故による死傷者数が減少しました。また、走行性が向上して所要時間が短縮されました。

●交通事故件数・死傷者数の推移



●混雑時平均通過時間

整備前 (H17 道路交通センサス)

整備後 (H25.6.12 調査)

3分52秒



3分5秒

約 50 秒短縮

<歩行者・自転車利用者の安全確保>

現道の幅員は車のすれ違いが困難なほど狭く、歩行者・自転車にとって危険な状況でした。

本事業で歩道を整備することにより、歩行者・自転車の安全を確保し、また、現道は交通量が大幅に減少したことから安全な歩行空間が生み出されました。

【状況写真】

整備前



整備後

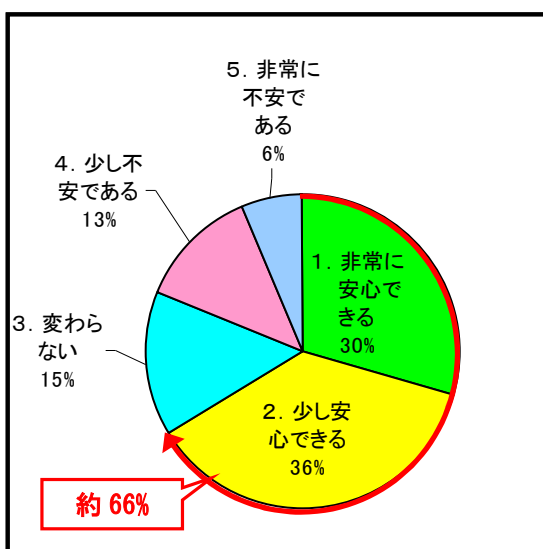


4 地元の声

主要地方道栃木佐野線 小野寺工区の整備により、生活や環境などにどのような変化があったかを確認するために地域住民や企業、学校などにアンケート調査を実施しました。

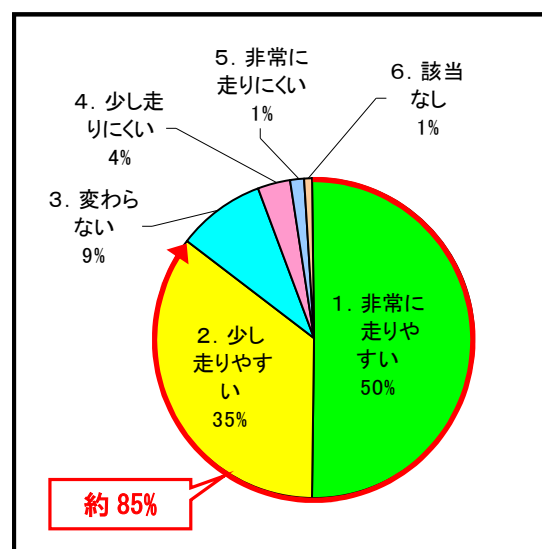
(回答数/配布数：176/342件 回答率 51% ※有効回答数は設問により異なります。)

(1) 道路整備後の日常生活での安心感



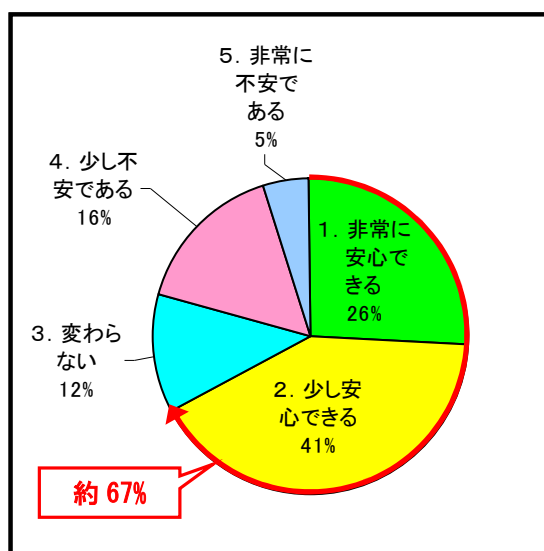
約7割の方が、安心できるようになったと感じています。

(2) 車での走りやすさについて



約9割の方が、車での走りやすさが良くなったと感じています。

(3) 徒歩・自転車での安心感



約7割の方が、徒歩・自転車通行で安心できると感じています。

(4) 自由意見(代表的なご意見の抽出)

- ・バイパスができたことにより旧道の交通量が激減し大変喜んでいる。(50代・男性)
- ・道路が良くなったのでゆとりが持てる。(60才以上・女性)
- ・便利にはなったが交通量が非常に多くなった。(60才以上・男性)
- ・車を運転する立場では利便性が向上した。歩道の整備は歩行者にとって有難い。(60才以上・男性)
- ・道幅が広がり、騒音が気にならなくなった。(40代・女性)
- ・カーブの箇所が減り、良い道路ができた。(60才以上・男性)
- ・交通量が増加し、スピードの出し過ぎの車も多くなった。(60才以上・女性)
- ・交通量の増加とスピードの出し過ぎにより横断が困難なため、信号機か横断歩道を設置して欲しい。(60才以上・男性)
- ・着工から完成まで時間がかかり過ぎのため、工期短縮を図ってもらいたい。(60才以上・男性)

5 事業による環境変化

特になし

6 事業を巡る社会経済情勢の変化

特になし

7 今後の事業評価の必要性及び改善措置の必要性

バイパス区間においては、通過交通が現道からバイパスに転換されたことにより、大型車交通による騒音・振動等の悪影響が改善され、沿線集落の生活環境改善に大きく寄与しました。また、事故件数調査やアンケート調査結果により、事業の目的である「安全で円滑な交通の確保」、「歩行者・自転車利用者の安全確保」は概ね達成されていると言えます。このため、今後の事後評価の必要性はないと考えます。

またアンケートの結果、「スピードを出す車が増えた」、またはそれによる「信号設置の要望」がありました。走行性が向上しスピード超過の車が増えたことによる不安があることから、今後経過観察を行い、必要に応じて交通管理者等と協議するなど検討して参ります。

8 同種事業への反映

沿線住民や道路利用者から工期が長い事に対するご指摘がありました。特に現道拡幅区間については、車を通行させながらの工事となるためバイパス工事よりも時間を要しますが、工事が日常生活に与える影響が大きいことから、短期集中的な工事の執行、地元住民への丁寧な説明を心掛け、道路利用者の理解を得られるよう今後の道路事業に反映させて参ります。

栃木県 県土整備部 道路整備課

T E L : 028-623-2410 F A X : 028-623-2417
H P : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h04/index.html>
E-mail : doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp

